



蕪城小学校の取組

図書委員会の取組と図書館を活用した授業を紹介し
ます。

図書委員会イベント「シークレットブック」

図書委員にじゃんけんで勝つと、シークレットブックを借りられるというイベントをしました。シークレットブックは、新聞で図書館の本を包み、どの本かわからないようにしました。中の本は図書委員が選び、おすすめの一言を添えました。図書委員の頑張りで、200冊近くのシークレットブックを作りましたが、700人を越える児童がいるため、大好評ですぐになくなってしまいました。シークレットブックを借りられなかった児童も、せっかく図書館に来たのだからと本を借りていく姿が見られ、通常の週と比べると、約1.5倍の貸出がありました。

企画・準備した図書委員たちは、「シークレットブックを作るのが楽しかった」、「大変だったけど、たくさん借りに来てくれて嬉しかった」等と手ごたえを感じたようでした。今後も図書委員の子どもたちのアイデアを生かし、図書館で楽しい企画を行っていきます。

シークレットブックを借りるための行列



シークレットブックを選ぶ児童



3年国語「仕事のくふう、みつけたよ」味見読書

担任の先生と司書とで協力し、授業の導入で「味見読書」をしました。「味見読書」とは、テーマに合わせた本を複数準備し、数分間ずつそれぞれの本を読んでいくという活動です。本のすべてを読むことが目的ではなく、自分に必要な本を見つけ出したり、読書の幅を広げたりすることが目的です。

今回は「仕事」をテーマにし、図鑑や調べ学習用の資料だけでなく、絵本や物語等、幅広く司書が事前に選書しました。授業の最後には、タブレットを使いアンケートを行いました。「読みたい本」と「調べるのに使いたい本」の二つを聞きました。予想通り「読みたい本」には絵本や物語を上げる児童が多く、「調べ学習で使いたい本」には図鑑や調べ学習用の本を上げる児童が多かったです。調べ学習の資料選択の手助けの一つとしても、味見読書が活用できるのではないかと感じました。



司書が味見読書について説明する様子



味見読書をしている様子

新任司書に聞いてみた

Part 2



松陽小学校の内野司書にインタビューしました。

Q.着任されてから、まずどのような業務から始めましたか？

図書館の環境整備と、新学期、主にオリエンテーションの準備。

Q.学校司書として、これは面白いな!と感じた子どもたちや先生方とのエピソードがあれば教えてください。

夏休み前の調べ学習指導で、テーマを考えるときの例として自身の困っていること(映画を見ているときにトイレに行きたくなってしまう)を提示した際、「たしかに!」という声が複数人から聞こえ、そういったリアルな反応を肌で感じられること。夏休み明け、「自分もやってみよう!」と挑戦してくれた生徒がたくさんいるといいな〜。

Q.学校司書として、特に学びになったと感じることは何ですか？

他の学校司書の授業実践を見学する機会があることと、自分の実践を見てもらい、意見をもらえること。

Q.初日や最初の数週間で、特に印象に残っていることや、驚いたことはありますか？

職員会議や職朝、終礼など、ほとんどのことが端末上で行われているところが、自分の学生時代とは大きく変わっていて戸惑い驚きました。

Q.学校司書として、現在どのような課題に直面していますか？

学校のことも授業のことも、あらゆる場面で自分の知識が足りず、図書や図書館を活用した学びを提案できていないこと。

Q.ご自身の学校図書館が、子どもたちや先生方にとってどのような場所になってほしいですか？

おしゃべりするもよし、のんびりと過ごすもよし、学校の中で落ち着ける場所のひとつとして、気軽に立ち寄ってもらえるようなオープンな図書館にしていきたいです。

Q.普段の業務の中で、特に楽しいと感じる瞬間はどんな時ですか？

授業の指導補助に入らせてもらった時。一番大変で戸惑うことが多い業務の分、学びが多く、「もっとこうしたい」「次はこんな風に変えてみたい」とやりがいを感じる業務です。

Q.困った時や悩んだ時、どのように解決していますか？

たくさんの学校司書仲間や支援センターという心強い窓口があるので、そこで相談しています。



学校司書の存在は、多くの子どもたちにとって「本との出会いの扉」になります。一冊の本が誰かの心を動かす瞬間に立ち会えるのは、司書ならではの喜びです。どうか焦らず、図書館を温かい空間にしていってください。

白山市学校図書館支援センター

白山市古城町 305 番地 松任図書館内 Tel 076(274)6523 Fax 076(274)5480

